

令和 8 年度事業と現在までの経過報告

1. 令和 8 年度の事業内容

- 耐震化・利活用検討委員会…7～11 月で計 3 回開催予定。主に工法と利活用の更なる検討。
- 防水シート・雨樋補修工事…方針書に基づき、雨水の浸透を防ぐ処置として令和 8 年度中に補修
- 内部説明…令和 8 年 5 月 13 日（水）議長説明、6 月 30 日（火）文教厚生常任委員会説明

2. 丹後震災記念館耐震化・利活用検討委員会

- 令和 8 年度の会議予定
 - ≪第 1 回会議≫ 日時：令和 8 年 7 月 29 日（水）15:30～17:00
場所：京丹後市峰山庁舎 2 号館（新館）2 階 221 会議室
 - ≪第 2 回会議≫ 日時：令和 8 年 9 月 18 日（金）14:10～15:30
場所：京丹後市大宮庁舎 4 階 401・402 会議室
 - ≪第 3 回会議≫ 日時：令和 8 年 11 月 17 日（火）14:10～15:30
場所：京丹後市大宮庁舎 4 階 401・402 会議室
- 基本計画の内容では不十分であった耐震工法について更なる検討を行うとともに、利活用や維持管理、資金調達方法などに関する検討も進める。

3. 現在までの経過報告

3-1. 工法協議

（1）京都府文化財保護課協議_令和 8 年 4 月 30 日（木）

- 京都府指定文化財の補助金は、地方公共団体所有物件には交付されない運用であること、所有者側の自己都合による指定解除はできないことを再確認。
- 工法について、開口部を閉じること（基本計画で示した工法）は、指定文化財の現状変更許可が得られないことを確認。
- 基本計画で示した B 案（RC 補強壁案）以外にも工法を複数検討し、より文化財的な価値を残せる工法を導き出す必要がある。

（2）委員会協議_令和 8 年 5 月 12 日（火）・5 月 18 日（月）

- 橋爪委員長・岩田副委員長・高岡委員・西山委員と工法について協議。
- 今後の工法検討に際し、文化財的側面にも配慮するため、後藤治氏（元工学院大学教授、元文化庁）に相談する。
- 工法案を複数検討する方向で進める。検討方法は要調整。

（3）後藤治氏協議_令和 8 年 7 月 20 日（月祝） 【資料 4 参照】

- 構造的な補強を担保しつつ、文化財に配慮でき得る方法として、基本計画で示す D 案（負荷分散）が実現性のある方法として、具体策の提案あり。

○菅澤茂氏(元京都府文化財保護課技師)も同行。

(4) 京都府耐震判定委員会 中森康正委員長協議_令和8年7月24日(金)

○工法検討にあたっての協力を依頼。

3-2. 今後の進め方について

